

在宅医療介護連携推進における急変時についての 意識に関するアンケート集計結果

1. 「在宅で療養生活を送る高齢者の急変時」といわれてどのような場面を思い浮かべますか。
ご記入ください。(複数ある場合は、すべてご記入ください。) ※ ()内数字は、同じ回答の数

○本人がいつもと異なる状態のとき

- ・体調不良、バイタルサインの急激な変化
：意識消失 (6)、意識朦朧 (3)、脱水症状 (または食欲不振 (3) など水分摂取が難しい状態や嘔吐 (2) が数日続く)、便秘が何日も続く、血圧 (2)、SP02、呼吸状態 (2) などの変化やチアノーゼ等の症状がある場合、脳梗塞などの症状、吐血、高熱、痙攣、低血糖、普段と違う言動が聞かれるとき。
- ・コロナなどの感染
- ・本人に手術が必要になったり、在宅では行えない医療が必要になった時。
- ・精神状態の急変にともなう、身体的、精神的な病状変化。
- ・転倒などによる体動困難 (5) や受傷 (2)、モチをのどにつまらせて呼吸困難・窒息、火傷 (受診してくれない)。
- ・部屋にいた本人が居ない。
- ・在宅で通報システムがあっても、コールを押さずに倒れている。

○家族の状況

- ・高齢者を介護するご家族に何かあった時 (4) (体調悪化や入院など)。介護者が不在になる時。
- ・独居の方の救急搬送時に家族と連絡がつかず、ケアマネが同行しなければならなかった場面
- ・終末、最期まで自宅で看るとの意向を確認できた利用者ご家族が、発熱等で救急要請。

○社会的なもの

- ・火事
- ・詐欺被害

○急変の判断に関すること

- ・人によって急変の感じ方が違う。利用者からの呼び出して訪問し様子を見るが、急変かを判断するのは医師。個人的考え方の急変より、ある程度の指針を示してほしい。
- ・蘇生処置が必要と思われる時。

○状態による急変

- ・医師より「終末期」と診断された方が、(病院から自宅に戻り) 急変した場合。
- ・特に「終末期」でない場合でも、難病の進行や老衰などでいつ亡くなってもおかしくない方が急変したとき。

2. 蓮田市では、在宅で療養生活を送る高齢者の急変時にも、本人の意思が尊重された適切な対応が行われることを目指しています。

急変時対応について、「本人・家族にとって不利益なこと(本人の意思が尊重されない、適切な対応につながらないなど)」といわれて、どのような場面を思い浮かべますか。

ご記入ください。(複数ある場合は、すべてご記入ください。) ※ ()内数字は、同じ回答の数

○本人の希望と異なるケアや方針

【本人の希望と異なるケアなど】

- ・希望していない病院に入院し、本人が望んでいない施設へ。
- ・病院の判断で、在宅は難しいと言われること。
- ・本人の望まない延命処置 (3) ・治療、入院 (3)、経管栄養。

【家族とかかわる場面】

- ・(本人が) 自宅での看取り希望でも、(家族が) 救急搬送をし、病院で逝去または延命となった。
- ・本人の意思と家族の意向が合わず、家族から違った対応を求められること。
- ・家族の意向が異なりもめている場面。
- ・家族の強いこだわりで、適切なサービスにつながらない、または、家族が負担を強く感じサービス利用を希望し、本人意向に沿えない時。
- ・受診が必要とケアマネは思うが、家族が精神病あり受診拒否。

【サービスとかかわる場面】

- ・本人の生活習慣から(時間・タイムスケジュール)希望のサービス資源にマッチしない。
- ・本人、家族が在宅看取り希望だが、経済的に訪問看護導入できず、救急要請し心肺蘇生となった。
- ・経済的な問題で、サービス導入ができない。(2)
- ・認定出るのが遅く、負担割合分からず、介護か支援か分からず、サービスが使えない。

○本人の希望がわからない場合

- ・延命などの希望が不明、または、意思の確認ができなかった場合。
- ・事前に本人の意思が確認とれない場合。
- ・家族や本人から、“とりあえず救急搬送”を希望されると、状態によりけりなため、対応が難しい。
- ・急変時の対応についての、本人・家族の意向が決まっていないため処置が遅れる。

○関係機関などとの連携によるもの

- ・ケアマネは入院と判断したが、自宅に帰される。
- ・通院が大変なのにケガやヒフの病気で毎日通うように話してくる医師。
- ・#7119に相談したのに、ケアマネジャーに相談しろと言われた。
- ・独居にて心停止で発見が遅くなった場合、医師が往診できればよいが、病院の場合搬送されず時間がかかる。心停止前の発見の場合、対応可能な家族が不在だと搬送が遅れる。
- ・緊急時の搬送先が見つからない。

○その他

- ・ごはんが食べられなくなった時に「自然に任せる」場合、本人の意見を確認し、病気によるものならば救命が先決となるのでは。
- ・看取りについて話し合ったことであっても、急な場面で、突作の行動、対応に変わってしまうことがある。「覚悟できた」と言っている、いざ、その場面になると変わってしまうことがある。悪いこと、不適切な行動とは言い切れない。